

令和8年度

幼稚園だより 5月号



文京区立千駄木幼稚園

開園 50 年の歩みに心を向けて

園長 篠澤 恵理

今年度、本園は開園 50 周年を迎え、4 月 30 日の開園記念日を前に「幼稚園の誕生会」を行いました。昭和 51 年に開園した当初からの写真を見ながら、子どもたちや保護者の皆様と一緒に千駄木幼稚園の歴史を振り返りました。開園当初、芝生の園庭で運動会をしたことや、開園 8 年目に園庭が拡張され、今のチャレンジ広場の場所に、大きな丸太小屋の遊具ができた様子を見て、今の環境との違いに驚く姿もありました。園庭にそびえ立つイチョウの大木は、開園当初から本園のシンボルツリーとして、親しまれていました。自然豊かで恵まれた今の環境を生かすとともに、千駄木幼稚園の歩みに感謝の気持ちを膨らませていきたいと思えます。

本園の周年記念誌を読むと、歴代の先生方をはじめ多くの方々が、子どもたちのためにと知恵を出し合い、力を尽くしてくださったことが分かります。開園当初から、全教職員で子どもたちのことを話し合い、幼児期の教育にふさわしい環境を整えてきた千駄木幼稚園の取り組みは、半世紀にわたって受け継がれていることも確認できました。

ホールでは、年長児が大型積み木を組み立てて、ボールを転がす遊び場を作っていました。自分たちでルールを決め、遊具の並べ方を考えていく遊びを見ていると、ひらめきやときめきも加わり、「もっとこうしよう」と考える姿も見られています。自分たちも千駄木幼稚園の歴史を創る一員として、楽しいことをたくさん見付けようと思う毎日になるように支えてまいります。



【年少組】

「空を飛んで、渡ろう」



【年中組】

「山の穴がつながるかな」



【年長組】

「コロコロ遊園地を作ろう」